

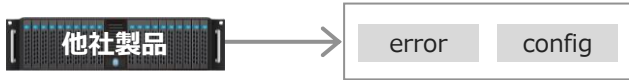
追加費用無し!
無料で利用可能!

クラウドベースの管理ツールPure1が実現する ストレージ保守の自律化

真のProactive（先回り）とPredictive（予測型）サポートの実現

一般的なサポートの課題

① エラー内容と構成情報を送付



② ユーザによるログ収集と送付



③ 解析結果を連絡

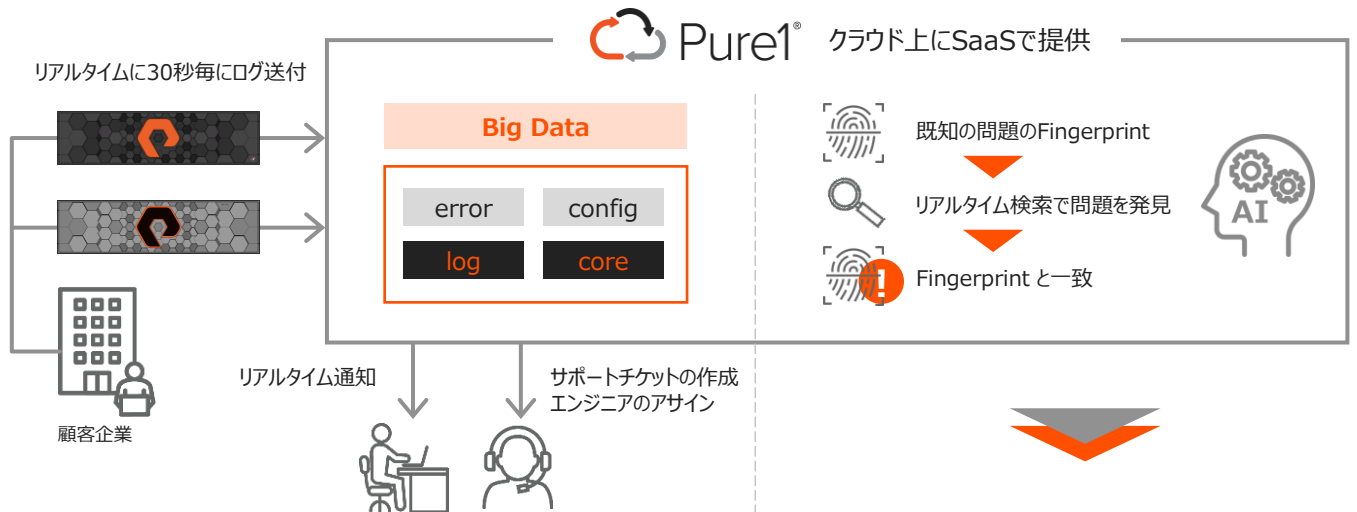


④ 追加ログ、再現待ちが必要なケースも

Reactive（受動型）による工数や問題の長期化

- ある製品で問題が発生した場合、運用担当者は既存の仕組み（例：syslog、SMTP、SNMP等）でアラートを検知
- しかし、サポート側には解析に必要なログがないため、ユーザーによるログ収集と送付が必要となり、解析の初動に時間がかかる
- 重度な問題は、追加ログや再現待ちが必要なケースが多く、複数のやりとりが発生し、解決まで多くの時間が必要
- ユーザーによる監視、ログのやりとりが必要な Reactive（受動型）サポート
- Big Data の解析対象がアラート、構成情報、軽度なログのみであり、Predictive（予測型）とうたっている内容は、ヘルス・チェックやベスト・プラクティスを元にしたシステムのスコア付け、軽度な問題の予兆検知を、関係者へ通知しているにすぎない

Pure1を利用したPure Storageのサポートが解決



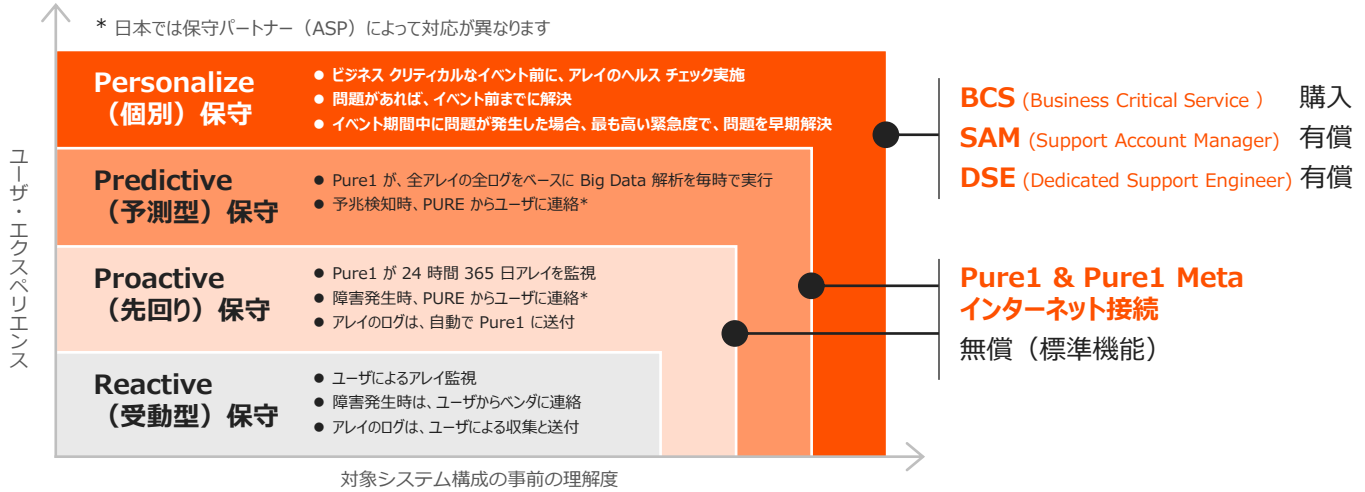
真の Proactive（先回り）を実現

- 詳細ログを含めた解析に必要な全ての稼働ログを、30秒毎にPure1へ自動的に送付
- サポート・エンジニアは、アラートを受け取ると詳細ログを元に、即座に解析を開始可能
- 問題解決までの時間に大きな影響を与えるログのやり取りや再現待ちは一切不要
- 工数をかけることなく、迅速なサポートを実現

Predictive（予測型）保守も無償の標準機能

- 全世界の稼働ログを30秒毎に受信することで巨大な分析基盤を構築
- データサイエンティストによるデータクレンジングによって高度に自動化されたAI分析により予兆を検知
- Predictiveの予兆検知は、アラートの約6割を占める
- 今後も全世界で収集される稼働ログを学習し、予兆検知の内容が増加

サポートレベルとPure Storageの対応



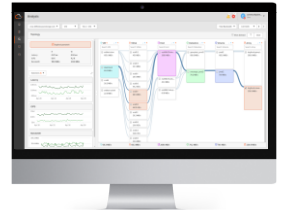
Global / Mobile Dashboard

- Pure Storage 製品は全て、クラウドベースの管理ツール「Pure1」で管理可能
- ダッシュボードとして、管理したい情報のサマリーを 1 ページに集約
- スマートフォンのアプリにも対応、場所を選ばない管理が可能、アラート等の通知もアプリを介してお知らせ



VM Analytics

- Pure1 にログインし、VM Analytics をクリックするだけで、仮想ディスク、VM、ESXi ホスト、データストア、ボリューム(LUN)、アレイまで、各レイヤーの性能情報をフルスタックで表示



Planning

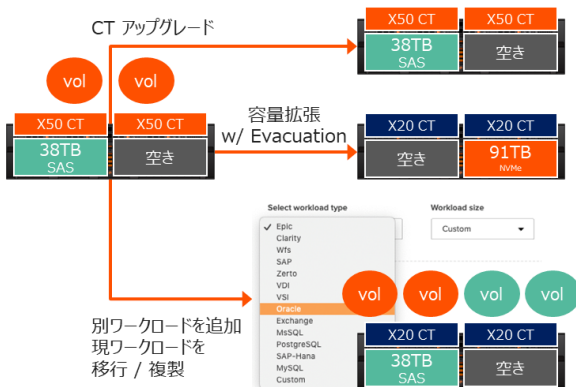
Forecast

- 複数アレイの性能と容量に関して、過去の使用傾向を1画面で簡単に確認可能
- さらに、これらの結果を基にした解析を自動的にを行い、将来の使用傾向を予測して同じ画面に表示
- 利用例として、1ヶ月以内や1年以内といった指定の期間において、容量が枯渇する(100% full) に達するアレイを予測し、不要なデータを削除するか、容量を拡張するかを検討するために活用

Simulation

- Forecastで1年後の性能と容量が枯渇するのを予測するだけでなく、H/W Simulationによって、コントローラ交換や容量追加した場合のシミュレーションも可能
- たとえばコントローラを交換することで、アレイの限界性能率がどれくらい変化するのか、といったシミュレーションも可能

実運用を想定した豊富な Planning 機能



現在と将来の性能への影響 (Forecast) を Simulation



現在と将来の容量への影響 (Forecast) を Simulation



その結果の性能と容量のバランスを Simulation

